

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
東京都の教育目標
千代田区の教育目標

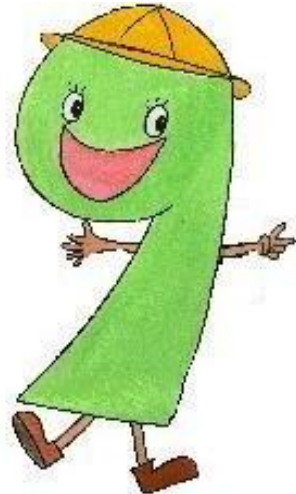
学校の教育目標
人間尊重の精神を基盤として、国際的視点に立つ自主性、創造性に満ちた児童を育てる。
○進んで学ぶ子 ○仲良く助け合う子 ○心も体もたくましい子

児童の実態
・明るく素直に努力する。
・学習面の関心が高い。
教職員の願い
保護者の願い
・さらに自主的な行動がとれるようにする。
・礼儀を身に付ける。
・温かい心をもち行動する。

道徳教育の重点目標
人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を基盤とし、自ら考え主体的に行動しようとする態度を養う。また、異なる立場や考えを尊重し、よりよく生きるための道徳性を養う。

道徳教育の重点目標（項目）

学校全体 **〔生命の尊さ〕** 生命が多く、生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。
〔公正、公平、社会正義〕 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平、な態度で接し、正義の実現に努めること。
第1学年及び第2学年 **〔個性の伸長〕**〔節度、節制〕
第3学年及び第4学年 **〔相互理解、寛容〕**〔善悪の判断、自由、自律と責任〕
第5学年及び第6学年 **〔よりよく生きる喜び〕**〔規則の尊重〕



《道徳教育における道徳授業の役割》

各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育としては取り扱う機会が十分でない内容項目に関わる指導を補うことや、児童や学校の実態等を踏まえて指導をより一層深めること、内容項目の相互の関連を捉え直したり発展させたりすること。

各教科における道徳教育

- 国語** 道徳教育の基盤として、表現力と理解力を育成するとともに、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高める。また道徳的判断力や心情を養う基本となるよう思考力や想像力及び言語感覚を養う。さらに、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を育てる。
- 社会** 社会的義務や責任を重んじ、公正に判断しようとする態度などの公民的資質の基礎を養う。
- 算数** 日常の事象について見通しをもち、筋道を立てて考え、進んで生活に生かそうとする心情を育てる。
- 理科** 自然に親しみ、自然を愛し、生命を尊重する態度を養う。
- 生活** 社会及び自然と直接関わる活動や体験を通し、自分自身について考えることで自立への基礎を養う。
- 音楽** 音楽を愛好する心情・音楽に対する感性を育て、豊かな情操を養う。
- 図工** 造形的な創造活動を通して、美しいものや崇高なものを尊敬する心及び豊かな情操を養う。
- 家庭** 楽しい家庭をつくり、家族の役に立つことをしようとする態度を育てる。
- 体育** 運動することを通して、粘り強くやり遂げる、きまりを守る、集団に参加し協力する態度を養う。身近な生活から、健康・安全に関心をもち、生涯にわたってよりよい生活を営もうとする態度を養う。

道徳授業の指導方針

- 道徳の特質を正しく理解し、意図的・計画的に授業を行う。
- 問題解決的な学習、体験的な活動など多様な指導法の工夫をする。
- 自己の生き方について深く考える学習を通し、道徳性を主体的に養う。
- 児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすように努める。

特別活動における道徳教育

- 学級活動** 仲間意識や思いやりの心を育むと共に、よりよい集団の形成に参画する態度を育てる。
- 児童会活動** 異年齢による望ましい人間関係の形成やよりよい学校生活づくりに参画する態度を育てる。
- クラブ活動** 異年齢による望ましい人間関係の形成や個性の伸長を図る。
- 学校行事** 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主性、実践的な態度を育てる。
・縦割り班活動（ワッハッハの日、フレンズタイム、清掃活動）

生活指導における道徳教育

- 児童の実態に応じた生活目標の設定と共通指導。
- 基本的な生活・学習習慣の定着を図り、清々しい気持ちで学校生活を送れるようにする。
・九段スタンダード ・家庭学習のすすめ
- いじめや不登校等の問題を未然に防ぎ組織的解決を図る。
・スクールカウンセラーとの連携 ・いじめ対策委員会
- 児童の健全育成に努める。
・あいさつ当番（全学年） ・地域清掃
・九段トライ&チャレンジ
- 家庭・地域社会・警察と連携した安全対策
・セーフティ教室 ・地域懇談会 ・一斉下校訓練

学年・学級経営

特色ある教育活動

- 国語タイムの実施により、言語能力の向上を図る。
・朝読書 ・言葉の時間 ・言葉の集会
- 幼稚園・保育園・小学校間でさまざまな連携カリキュラムを実施することにより、豊かな人間性を育む。
・読み聞かせ隊 ・3, 4, 5歳児との連携カリキュラム
・運動会 ・展覧会 ・音楽会 ・学芸会
- 異年齢縦割り班活動を行うことにより、思いやりの心を育てる。
・縦割り班清掃 ・フレンズタイム ・ワッハッハの日
・千代田区クリーンキャンペーン
- 伝統と文化を尊重した取組を実施することにより、地域に愛着をもたせる。
・九段囃子 ・囲碁クラブ ・囲碁教室 ・器楽クラブ（プラネット）

外国語活動における道徳教育

HRT と ALT との連携を密にし、英語に慣れ親しむ活動や発達段階に応じた活動で、コミュニケーションを図ろうとする意欲を高める。日本人としての自覚をもって、世界の人々と親善に努める態度を養う。

総合的な学習の時間における道徳教育

粘り強く解決する資質や能力、自己の目標を実現しようとして、他者と協調して生活しようとしたりする態度を養う。

校種間の連携

- ・保幼小合同研修会
- ・校内留学制度（OJT）
- ・保育園 幼稚園との交流（1～6年）
- ・キャリア教育と関連して
- ・中学校 中等教育学校との交流（5, 6年）

家庭・地域との連携教育

- ・学校（園）運営連絡会
- ・地域懇談会 地域行事への参加
- ・学校公開 授業参観
- ・学校応援隊（学習・行事への協力）
- ・ふれあい体験広場 ・ワッハッハの日 年2回
- ・千代田区クリーンキャンペーン 年2回

校内環境の整備

- ・人権に配慮した掲示物を掲示することで、他の人を思いやる心や公正、公平の精神を育む。
- ・毎時間の道徳授業の様子を掲示することで、重点内容項目に関する意識を高める。
- ・道徳科の全体計画別葉や年間指導計画を掲示することで、全教育活動での取組を意識する。